

令和 7 年 5 月 1 2 日

広報広聴委員長 様

令和 7 年度米子市議会「議員と語ろう 議会報告会・意見交換会」
に係る意見交換会報告書

1 班 班長 塚田 佳充

米子市議会議会報告会・意見交換会開催要項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

テーマ	歩いて楽しいまちづくりについて考えよう
参加者数	議員 8 名 ・ 一般 2 6 名 合計 3 4 名
主な意見等	市民のための政策なのか、観光客のための政策なのか分からない。 公共交通の充実が大前提。 米子駅南側のバス路線を増やしてほしい。 皆生温泉行きのバスを増やしてほしい 米子駅行きのバスを増やしてほしい。 バスの利便性を高くするために 1 時間の本数を増やしてほしい。 各高校の門前にバス停を作してほしい。 バスの料金を一律安価な設定にしてほしい。 公共交通支払いを携帯端末で出来るようにしてほしい。 鉄道のまちと言う割に 1 時間に 1 本しかない。 バスや汽車は本当に必要なのか、変わる乗り物は検討しないのか。 歩くための環境づくりを充実、トイレ整備などが急務。 歩行者を感知して点灯するセンサー式防犯灯を設置してほしい。 歩行者や歩行車、車いすが利用しやすい道路に改良すべき。 歩くきっかけづくりを定期的にしてほしい。 週一でイベント開催してほしい。 駅前だんだん広場や文化ホールを使用し駅前を活性化してほしい
所 見	歩いて楽しいまちづくりについては、車社会の本市においても、 いつかは運転免許返納する時が来る。その際のサービスを今以上に 向上させ公共交通を充実、利便性を高めておく事が急務である。 歩くきっかけづくり、高齢者や障がい者にやさしい環境整備を早 急に行う必要があると感じた。

1 班 A グループ



B グループ



C グループ

